

令和7年度

第1回さぬき市部活動地域移行推進協議会



令和7年5月19日（月）15：00～

寒川第2庁舎203会議室

第1回さぬき市部活動地域移行推進協議会日程

開 会

- 1 推進協議会委員委嘱状交付式（ 教育長 和田 浩二 ）
- 2 開会のあいさつ（ 教育長 和田 浩二 ）
- 3 出席者自己紹介
- 4 議事
 - （1）会長・副会長の選出
 - （2）部活動の地域移行について
 - （3）さぬき市の状況について
 - （4）アンケート・意向調査について
 - （5）今後のスケジュールについて
 - （6）質疑応答
- 5 その他・事務連絡

閉 会 閉会のあいさつ（ 教育部長 佐藤美由紀 ）

1. 改革の理念及び基本的な考え方等

※下記の内容は、公立中学校等の生徒を主な対象としたもの

(1) 改革の理念

- 急激な少子化が進む中でも、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実するのが改革の主目的。
※改革を実現するための手法を考える際には、学校における働き方改革の推進を図ることや良質な指導等を実現することについても考慮。
- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障。
- スポーツ基本法、文化芸術基本法で、地方公共団体による「地方スポーツ推進計画」、「地方文化芸術推進基本計画」の策定が努力義務とされていることも踏まえ、各地域においてスポーツ・文化芸術施策を総合的に推進する中で、部活動改革も計画的に進められることを期待。

(2) 地域クラブ活動の在り方

- 地域クラブ活動においては、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出することが重要。

＜新たな価値の例＞

- 生徒のニーズに応じた多種多様な体験（1つの競技種目等に専念しないマルチスポーツや、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動等を含む）、生徒の個性・得意分野等の尊重、学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出、地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流、適切な指導者による良質な指導、学校段階にとられない継続的な活動（引退のない継続的な活動）及び地域クラブの指導者による一貫的な指導
- 地域クラブ活動の具体的な実施形態や活動内容等は多様な形があり得る。地域の実情等にあった望ましい在り方を見出していくことが重要。
- 民間のクラブチーム等との区別や質の担保等の観点から、国として、地域クラブ活動の定義・要件や認定方法等を示した上で、地方公共団体に
おいて認定を行う仕組みを構築していく必要。

(3) 地域全体で連携して行う取組の名称（「地域移行」の名称変更等）

- 上記の理念や地域クラブ活動の在り方等をよりの確に表すため、「地域移行」という名称は、「地域展開」に変更。
【コメント】①学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく。+ ②新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とする。
※学校部活動から地域クラブ活動に転換した場合であっても、地域クラブ活動の実施に当たって、学校施設の活用等、学校との連携は図る必要。

(4) 改革を進めるに当たっての基本的な考え方

- 上記の理念等を幅広い関係者で共有しながら地域展開等に取り組むこと。● 具体的手法は地域の実情等に応じた多様な選択肢を認めること。
- 活動の場を増やすだけでなく、活動内容の質的向上も図ること。● 対面とデジタルを最適に組み合わせるなど新たな手段も最大限活用すること。
- 受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を検討し、国・都道府県・市区町村が支え合いながら適切な支援を行うこと。
- 障害のある子供や運動が苦手な子供等を含め、多様な子供が希望に応じて安心して活動に参加できる環境を整備することが重要であること。
- 地方公共団体等において、地域クラブ活動に関する情報を整理・集約し、学校と連携して、生徒・保護者にきめ細かな情報提供等を行うこと。1

2. 改革推進期間の成果と課題

- 令和5年度から「改革推進期間」がスタートし、国の実証事業等を通じて、地方公共団体による取組が着実に進捗。既に休日の地域展開を進めている地方公共団体等も存在しており、今後更にも改革が進捗していく見込み。
- 地方公共団体の創意工夫により、地域の実情に応じた運営形態のモデルや指導者確保等の課題の解決に向けた方策等も見出されている。
- 他方、改革途上にある地方公共団体等も多い。これまでの改革の歩みを止めず、より一層の改革を進めていくことが必要。そのためにも、国において実証事業等の成果と課題の整理・分析を行い、課題の解決方策等も明らかにし、広く普及していくことが重要。

3. 今後の改革の方向性

- 地方公共団体が幅広い関係者の理解と協力の下、平日・休日を通じた活動を包括的に企画・調整し、多様な選択肢の中から地域の実情等に合った望ましい在り方を見出し、改革の方針を決定することが重要（生徒・保護者等への丁寧な説明も必要）。
※休日の地域展開とともに、平日の地域展開もあわせて、できることから取り組みむことなどもあり得る。

改革の進め方	・休日については、<u>次期改革期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。</u> ※地域の实情等を踏まえつつ、できる限り前倒しでの実現を目指すことが望ましい。 ※中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開に困難が伴う場合等には、国としても、きめ細かなサポートを通じて地域展開を後押し。それでも地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を適切に実施。 ・平日については、<u>各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。まずは、国において、地方公共団体が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、地方公共団体において地域の実情等に応じた取組を進める。</u>
次期改革期間	「改革実行期間」（前期：令和8～10年度 → 中間評価 → 後期：令和11～13年度） ※現時点で着手していない地方公共団体においても、<u>前期の間に確実に休日の地域展開等に着手。</u> ※平日の改革については、前期において活動の在り方や課題への対応策等の検証を行った上で、中間評価の段階で改めて取組方針を定め、<u>更なる改革を推進。</u>
費用負担の在り方等	・地方公共団体において、地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、<u>受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方等を検討する必要（公的負担については国・都道府県・市区町村で支え合うことが重要）。</u> ※<u>受益者負担の水準については、国において金額の目安等を示すことを検討する必要。</u> ・企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングをはじめとした寄附等の活用等、<u>新たな財源の確保も有効に組み合わせていくことが重要。</u> ・家庭の経済格差が生徒の体験格差につながるこの点も、<u>経済的に困窮する世帯の生徒への支援については確実に措置を行う必要。</u> ・部活動指導員の配置について、<u>次期改革期間においても一定の範囲で支援を行っていく必要。</u>

4. 地方公共団体における推進体制の整備

- 地方公共団体において、専門部署の設置や総括コーディネーターの配置等、適切な推進体制を整備することが重要。
- 改革を円滑に進めるためには、地方公共団体とともに、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、文化協会、社会教育施設、民間事業者、大学、地域の中学校体育連盟、中学校文化連盟、スポーツ推進委員等と適切に役割分担を行い、幅広い関係者が連携・協働しながら一体となって取組を進める必要。
- 都道府県が広域自治体としてリーダーシップを発揮し、市区町村に対して必要な支援をきめ細かく行うことも重要。
- 一つの市区町村における対応が困難な場合には、複数の市区町村による広域連携の取組を進めることも重要。

5. 学習指導要領における取扱い

- 地域クラブ活動は、学校外の活動ではあるものの、教育的意義を有する活動であり、継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、学校を含めた地域全体で生徒の望ましい成長を保障するもの。そのため、地域クラブと学校との連携が大切。
- 実態としては、現時点における地域展開等の進捗状況・見通しを踏まえると、今後、休日を中心に、地域クラブ活動が広く普及・定着していることが見込まれる一方で、当面は、平日を中心に学校部活動が存続する学校も一定程度あることが想定。
- 一方、その指導体制については、地域展開が原則となる休日だけでなく、地域連携も含めて取組が進められる平日についても、地域クラブの指導者又は部活動指導員が指導を担う体制を普及させていくことが重要。
- こうしたことを踏まえ、学習指導要領の次期改訂においては、地域クラブ活動の普及・定着を前提とした記載としつつ、地域展開が困難な場合に実施される学校部活動に関しても教職員等の負担軽減の視点から一定の記載を行うことが考えられる。
- 今後、このような方向性を踏まえつつ、地域クラブ活動と部活動に関する記載内容についてスポーツ庁及び文化庁において更なる検討・具体化を進めた上で、中央教育審議会に報告されることが期待される。

※なお、学習指導要領解説については、別途、現行ガイドラインの記載等に沿った見直し（学校と地域クラブとの連携等に関する記載の新設等）が令和6年12月に行われている。

※学習指導要領については学校における教育課程の基準であり、現行の部活動についての記載も学校の教育課程との関連を中心に行われているものであることに留意が必要であり、地域クラブ活動と学校との必要な連携など、地域クラブ活動の実施に当たったの留意点等については学習指導要領解説や部活動ガイドラインなどにおいて詳細を記載していくことも考えられる。

各論（個別課題への対応等）

1. 地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備等

- 地域全体での連携体制の整備（地方公共団体と関係団体等との連携・協働、コーディネーターの配置、学校との連携等）
- 運営に関するサポート体制の整備、運営を担う人材の確保・育成
- 組織体制・財政基盤の整備
- ICT活用による運営業務の効率化 等

3. 活動場所の確保

- 学校施設等の有効活用（地方公共団体等による協力等）
- 認定を受けた地域クラブ活動の優先利用・使用料減免等
- 活動場所の管理運営の効率化等（ICT活用、鍵の受渡しの負担軽減、指定管理者制度等の活用、学校施設の複合化等）

5. 大会やコンクール運営の在り方

- 生徒の大会等の参加機会の確保（地域クラブ活動の認定制度の導入に合わせた大会参加規程の見直し、行政・関係団体等による協議の場の設定等）
- 大会に参加する生徒への支援等（交通費・宿泊費の支援等）
- 大会の運営及び引率等の体制整備（地域クラブ活動関係者や保護者等の参画促進、大会運営の外部委託等） 等

7. 生徒の安全確保のための体制整備

- 事故や暴力・暴言等の不適切行為の防止（指導者等への研修、組織的な体制整備、相談窓口の活用促進等）
- 事故や不適切行為が発生した場合の責任の所在の明確化
- 生徒及び指導者の保険への加入（傷害保険＋賠償責任保険）

2. 指導者等の質の保障・量の確保

- 多様な人材の発掘・マッチング・配置（人材バンクの設置・運用、大学生の活用促進、希望する教職員の兼職兼業等）
- 適切な資質・能力の保障、人材育成（研修会開催、公認指導者資格の取得促進、指導の手引き作成、適切な処遇の確保等）
- 平日（部活動）と休日（地域クラブ活動）の一貫指導 等

4. 活動場所への移動手段の確保

- 既存車両の有効活用（スクールバスやスポーツ団体のマイクロバス等）
- 地域公共交通との連携等（運行ダイヤの見直し検討、利用料への補助、AIオンデマンド交通や公共ライドシェアの活用等）
- 多様な政策分野との連携・協働等（介護・福祉・医療等）

6. 生徒・保護者等の関係者の理解促進

- 国における取組（ポスター・チラシ・動画等、ポータルサイトやSNS等を通じた広報、説明会・シンポジウム等の開催）
- 地方公共団体等における取組（学校と連携した生徒等へのきめ細かな情報提供等、体験会等の開催、生徒等の希望を把握するためのアンケート調査やワークシヨップの実施等）

8. 障害のある生徒の活動機会の確保

- 多様な地域の関係者の参画（障害者スポーツセンター、地域のバラスポーツ協会、放課後デイサービス実施事業者等）
- 新たなスポーツ・文化芸術活動の機会の提供
- 障害者対応指導ツール等を活用した指導者の資質・能力の向上 等

部活動地域移行の推進計画（国）

2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)
----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------



改革推進期間

改革実行期間

改革推進期間

次期改革期間

* 原則、すべての学校部活動において地域展開の実現を目指す。

* できるだけ前倒しでの実現を目指すのが望ましい。

* 課題を克服しつつ平日の学校部活動の地域展開を目指す。

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

香川県 さぬき市

自治体名：香川県さぬき市
担当課名：教育委員会事務局 学校教育課
電話番号：0879-26-9972

1.自治体の基本情報



基本情報

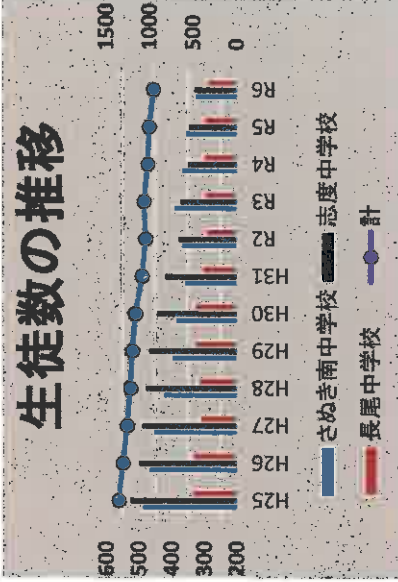
面積	158.90 km ²
人口	44,348人
公立中学校数	3校
公立中学校生徒数	954人
部活動数	51部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	推進協議会設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	推進計画作成中 ガイドライン策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

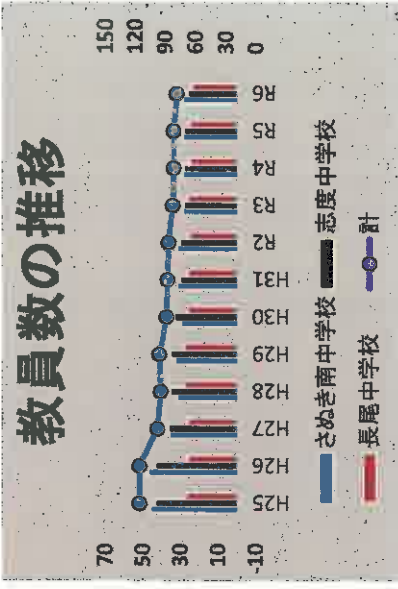
本市は、平成27年度に3中学校に統合され、現在の生徒数は950名程度である。人口減少が急激に進むに伴って、児童・生徒数も年々減少しており、今後減少傾向が続くことが予想される。令和10年度には、現在よりもさらに50名程度の生徒数減も見込まれている。また、生徒数の減少に伴い教職員の数も減少している。しかし、各中学校の部活動数は50部活程度で長い間大きな変動はなく、チームスポーツにおいては、チームが組めず、大会に参加できないなどの問題が出てきている。個人種目においても少人数での練習しかできず、満足する活動が

できていない状況である。このままの状況では、進学する中学校に自分のやりたい部活動がない、あっても思いっきり活動できないなど、生徒たちが多様なスポーツ活動に触れる機会を失う状況になりかねない。中学生の部活動の受け皿となる地域クラブ等では、整備されておらず、民間のクラブ等も少なく、今後の受け皿となる団体等の体制整備が重要な課題となっている。

生徒数の推移



教員数の推移



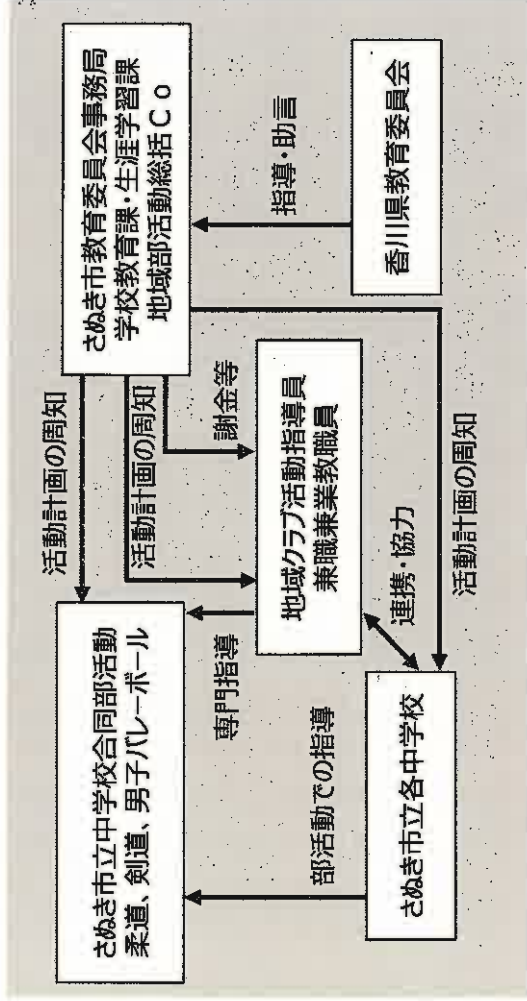
2. 実証内容と成果



スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校教育課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携、学校に関する事項について
- ・生涯学習課…スポーツ協会・文化協会を管轄、スポーツ施設等の管理担当

◎首長部局

- ・役割分担なし

年間の事業スケジュール

令和6年6月	第1回さぬき市部活動地域移行推進協議会開催
令和6年6月	ガイドライン策定
令和6年8月	地域スポーツクラブ体制整備事業指導者研修会
令和6年8月	地域スポーツクラブ体制整備事業開始（柔道・剣道）～10月
令和6年10月	地域スポーツクラブ体制整備事業開始（男子バレーボール）～2月
令和6年10月	第2回さぬき市部活動地域移行推進協議会開催
令和7年2月	第3回さぬき市部活動地域移行推進協議会開催

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		
全体の指導者数	8人	全体の運営スタッフ数	2人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 (※移行した部活動の種目)	実施回数	実施回数 （期間内）	実施時間 （学年別）	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他のクラブと兼任）	会費	大会参加方 法
さぬき市柔道クラブ（仮称）	教育委員会	柔道（新）	期間内7回	9:00～12:00 (13:00～16:00)	1年生3人 2年生7人	8月～10月	大川武道館	3人	2人 (内、兼務2人)	なし	なし	中体連：部活動 その他：部活動
さぬき市剣道クラブ（仮称）	教育委員会	剣道（新）	期間内7回	9:00～12:00 (13:00～16:00)	1年生15人 2年生7人	8月～10月	大川武道館	1人	2人 (内、兼務2人)	なし	なし	中体連：部活動 その他：部活動
さぬき市男子バレーボールクラブ（仮称）	教育委員会	男子バレーボール（新）	期間内11回	8:30～11:30 (13:00～16:00)	1年生7人 2年生5人	10月～2月	さぬき南中学校体育館	4人	2人 (内、兼務2人)	なし	なし	中体連：部活動 その他：部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●特になし

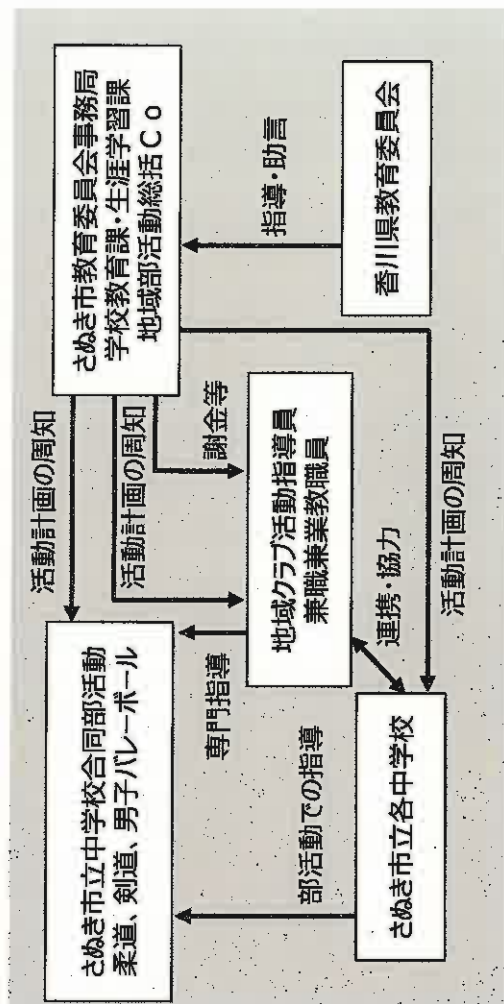
2.実証内容と成果

主な取組例

●さぬき市スポーツクラブ（仮称） 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	柔道、剣道、男子バレーボール
運営団体名	さぬき市スポーツクラブ（仮称）
期間と日数	柔道、剣道：8月24日～10月14日 この期間内で7回 男子バレーボール：10月19日～2月8日 この期間内で11回
指導者の主な属性	さぬき市スポーツ協会の加盟団体 教員
活動場所	市内公共施設及び中学校体育館
主な移動手段	市のマイクロバス及び保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 地域部活動総括C.O.
 - ・学校、保護者、地域スポーツ団体等との交渉及び連携
 - ・地域クラブ活動の企画・運営
- 主任指導者（各種目1名）
 - ・練習計画の作成及び実施、練習の責任者
- 運営補助者（1名）
 - ・地域部活動総括C.O.と協力し地域クラブを運営

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や、団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

● 取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組専頁

今回取り組む種目は、学校単独では、部活動が成立しなくなる可能性がある柔道部・剣道部とし、3中学校の合同部活動の形で行った。地域部活動総括C o が中心となり、日程や会場の決定等の企画を行い、市スポーツ協会に加盟している競技団体に指導を行ってもらう形にした。

また、男子バレーボール部は、市内の1中学校にしかなく、他の2校で希望する生徒もいることから拠点校方式で、地域の指導者や教員の兼職兼業を活用する形で実施した。

取組の成果

○生徒たちにとっては、日ごろの部活動より多い人数で練習することができたり、より専門的な指導を受けたりすることで、充実した活動になったと感じている。

○参加生徒は、他校の生徒との交流ができ、大変良かったと感じている。

○地域部活動総括C o の配置により、ガイドラインの改定や部活動地域移行推進協議会の開催など、学校やPTA、地域の関係団体等との連携が進んだ。

○実証事業を実施したことで、各種団体の地域移行に対する参画意識が高まった。

○教育委員会内部においても、地域部活動総括C o が中心となり、部活動の地域移行の方向性について検討を繰り返したことで、まだはっきりとはしていないが方向性が見えてきた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

今年度4月1日に地域部活動総括C o が配置され、実証事業についての概要の把握や先進地視察、実証事業の企画・運営等を行った。

部活動地域移行準備委員会を開催するとともに、さぬき市部活動地域移行推進協議会の委員を選定及び委嘱し、6月末に第1回さぬき市部活動地域移行推進協議会を開催した。（年間3回開催）

各中学校へ出向き、校長・部活動顧問と協議を重ねた。

関係団体及び保護者へ部活動地域移行についての説明を行った。

今後の課題と対応方針

実証事業を開始するにあたり、時間的な余裕がなくなることから、協会や連盟の方への事業の説明や打ち合わせが十分に行えず、理解を得られなかった部分があった。また、指導者の選定にあたっては、平日と休日の指導者が異なることからの指導方法の問題、人間関係の問題等で困難を極めた。そのような点から、運営団体や実施主体となってもらえる競技団体への事前の説明を十分に行う必要がある。

さぬき市としての方向性を早期に決定し、広報することも大切である。

2. 実証内容と成果①

● 総括

4月から地域部活動総括コーディネーターを学校教育課内に配置した。地域部活動総括コーディネーターが中心となって、準備委員会の開催や先進地の視察を年度当初行った。また、各中学校へ出向き、校長先生や実証事業の対象となっている種目の部活動顧問等に説明や聴き取りを行った。5月には、さぬき市部活動地域移行推進協議会設置要綱をもとに推進協議会のメンバーを選定・委嘱し、6月末に第1回の推進協議会を開催した。国・県の新しいガイドラインをもとに、「さぬき市学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定した。

7月から学校長・部活動顧問と地域スポーツクラブ体制整備事業の最終調整に入り、保護者説明会や実施団体等への説明会を開催し、8月末から10月中旬に剣道部・柔道部、10月中旬から2月上旬に男子バレーボール部で実証事業を行った。

10月に第2回さぬき市部活動地域移行推進協議会、2月に第3回さぬき市部活動地域移行推進協議会を開催し、さぬき市の地域移行の方向性について熱心に議論することができた。

総括・成果の評価・今後に向けて

● 成果の評価

地域部活動総括ＣＯ自身が、地域スポーツクラブ体制整備事業について十分な理解ができておらず、関係団体への周知や依頼が十分にできなかった。そのため、指導者の確保等に支障をきたした。関係団体についての組織の状況等についても十分な把握ができず、連携も不十分になってしまった。

活動自体は、大きなけがやトラブル等もなく、スムーズに実施されたように感じるが、保護者の中には、「練習内容が十分でなく、無駄な練習であった」というような厳しい意見もあった。部活動に対しては、いろいろな考えや思いがあり、すべての人を満足させることは、難しく、部活動の地域移行の大きな課題ではないかと思った。

さぬき市自体はそんなに大きな市ではないが、活動場所への生徒の移動は大きな問題で、スクールバス等を活用して効率よく輸送すると、バスの台数・運転手の確保・燃料代等の問題が発生し、行政への負担が大きくなる。

● 今後に向けて

令和6年度に実証事業で取り組んだ種目を令和7年度も継続してほぼ1年間取り組みてみたい。その種目については、令和8年度から休日の部活動を地域移行に持っていくきたい。

さぬき市部活動地域移行推進協議会をこれからも定期的に開催し、さぬき市の部活動地域移行の方向性を早期に決定したい。また、さぬき市の部活動の地域移行がスムーズに実施されるよう、様々な角度から検証していきたい。

令和8年度以降については、休日の部活動の地域移行を拡大していくとともに、平日の部活動の地域移行についてもできることから取り組んでいきたい。

2. 実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

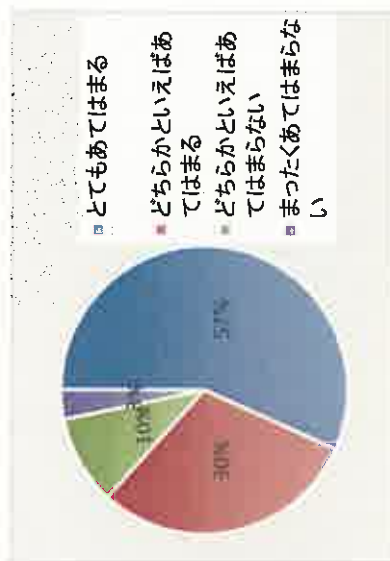
Q.地域スポーツクラブ活動に参加してよかったか？（生徒）



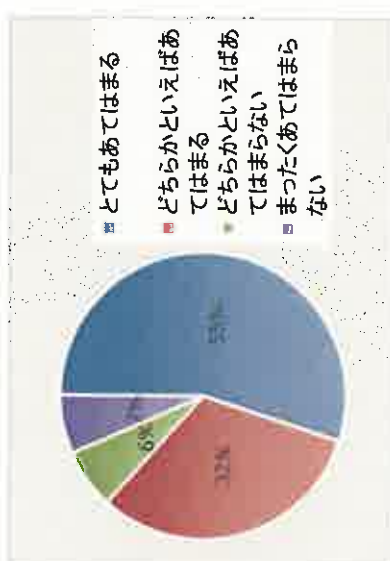
Q.地域スポーツクラブの活動内容に満足していますか？（生徒）



Q.地域スポーツクラブ活動はお子さんにとって意義があるか？（保護者）



Q.今後も地域スポーツクラブ活動の開催を希望しますか？（生徒・保護者）



●参加者の声

柔道参加生徒

いろんな階級の子と柔道ができたところがよかったです。いろんな技をすべて楽しくかったです。他校と一緒に練習できてとてもいい経験になった。

剣道参加生徒

先生によって教え方も違うと思ったし、わかりやすく説明してくれてよかった。実技練習だけでなく他のいろいろなことを教えてもらって勉強になった。

バレーボール参加生徒

他の学校の人も仲良くバレーができて楽しかった。コーチや先生にわかりやすく教えてもらった。学校の部活動に慣れきっているので、地域移行は少し不安。

保護者

練習相手が増えて、幅が広がっていくと思う。学校内ではできないような練習ができるし、交友関係も広がるのではないと思う。いろんな人と関わられてよかった。

保護者

教員の負担が減るのであればいいことだと思うが、学校との連携は取ってほしい。昨今の少子化においては地域移行は当然。続けて好きなスポーツができない子が出ることの方が問題。

2. 実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【柔道クラブの合同部活動の様子】



【剣道クラブの合同部活動の様子】



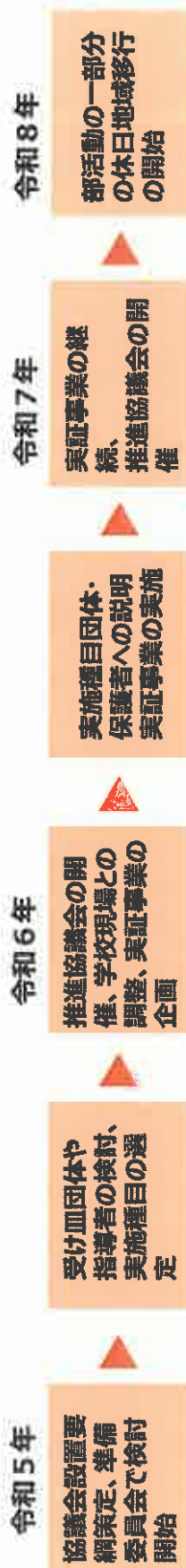
【男子バレーボールクラブの拠点校練習の様子】



【男子バレーボールクラブの練習試合での指導の様子】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

学校、スポーツ協会、文化協会
スポーツ少年団、PTA、市教委

●経過

市部活動地域移行準備委員会を立ち上げ、先進地視察や会議を開催し、地域移行に向けて検討を始めた。また、地域移行の市としての方向性を審議する推進協議会の設置要綱を12月に策定した。

●実施にあたって生じた課題

- ・地域の受け皿の問題
- ・部活動地域移行に関する啓発

●実施内容、工夫した点等

運営団体及び実施主体となるであろう団体等の代表者をメンバーに想定した

●ステークホルダー

学校、スポーツ競技団体、文化団体、スポーツ少年団、生徒、保護者、推進協議会委員、市教委

●経過

部活動が新チームとなった夏休み後半から柔道部・剣道部において合同部活動形式で、男子バレーボール部は拠点校方式で実証事業を実施した。実施前に部活動顧問・保護者・競技団体に説明した。

●実施にあたって生じた課題

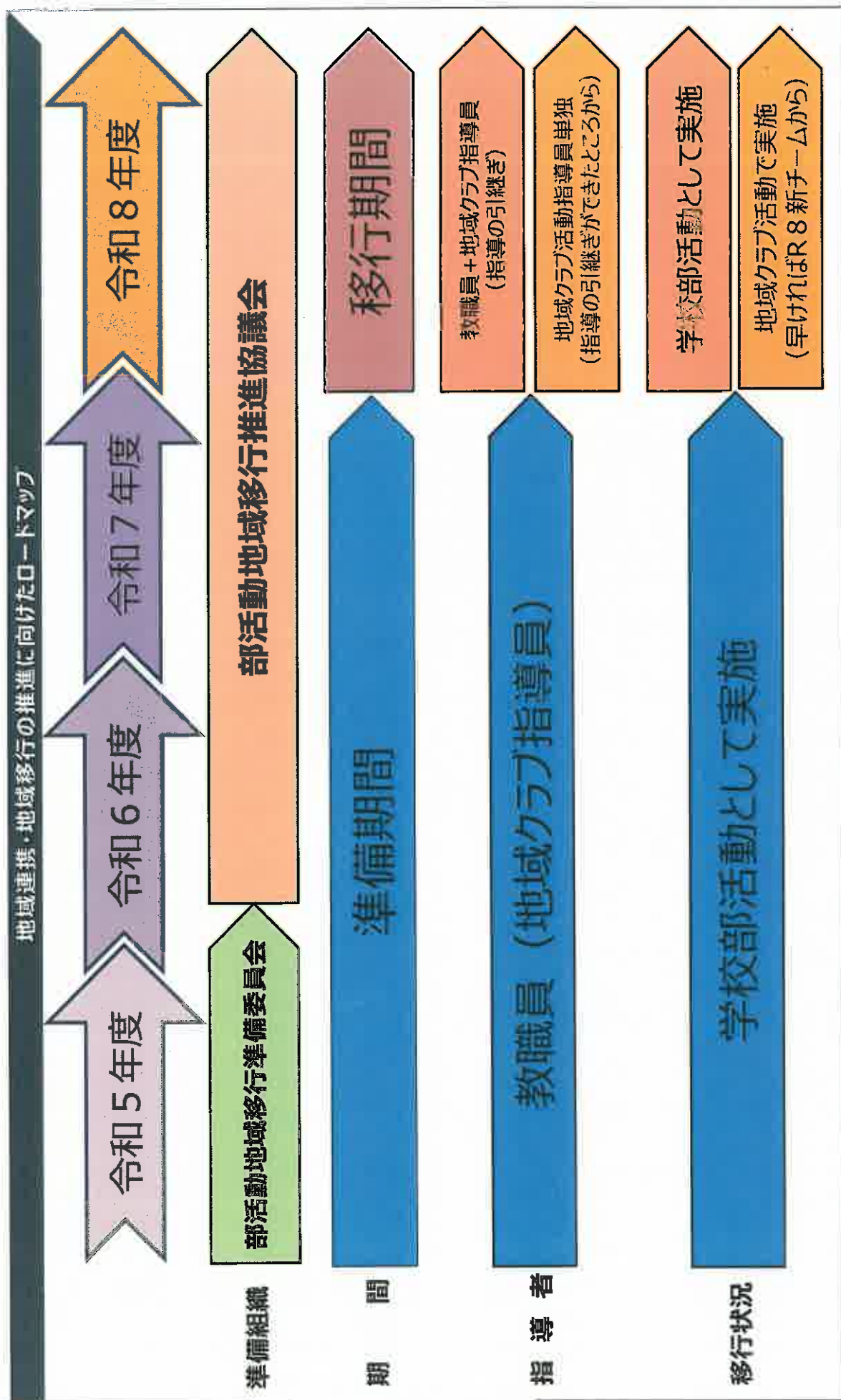
- ・実証事業を行う部活動の選定
- ・実施主体の決定
- ・生徒の移動手段（市のマイクロバスによる送迎は効率が悪い）
- ・関係者の理解と協力の確保
- ・指導者の確保

●実施内容、工夫した点等

柔道と剣道については、市の施設を活用し、同じ日程で、同じ場所（1階と2階）で実施した。

男子バレーボールについては、教員の兼職兼業を活用した。

3. 今後の方向性



自治体の課題、現状

本市は、平成27年度に3中学校に統合され、現在の生徒数は950名程度である。人口減少が急激に進むに伴って、児童・生徒数も年々減少しており、今後も減少傾向が続くことが予想される。令和10年度には、現在よりもさらに50名程度の生徒数減も見込まれている。また、生徒数の減少に伴い教職員の数も減少している。しかし、各中学校の部活動数は50部活程度で長い間大きな変動はなく、チームスポーツにおいては、チームが組めず、大会に参加できないなどの問題が出てきている。個人種目においても、少人数での練習しかできず、満足する活動ができていない状況である。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	3校	全生徒数	954人
域内の 部活動数	51部	実施した 地域クラブ数	3クラブ
全体の 指導者数	8人	全体の 運営スタッフ数	2人
主な 運営団体	さぬき市教育委員会 学校教育課		
主な種目	柔道、剣道、男子バレーボール		
平均的な 活動回数	2回/月	年間平均 参加生徒実数	3年：0人 ^{1クラブ} 2年：5人 ^{1クラブ} 1年：7人 ^{1クラブ}
参加会費	0円/年	主な活動場所	大川武道館 さぬき南中学校

地域移行関連の取組、成果

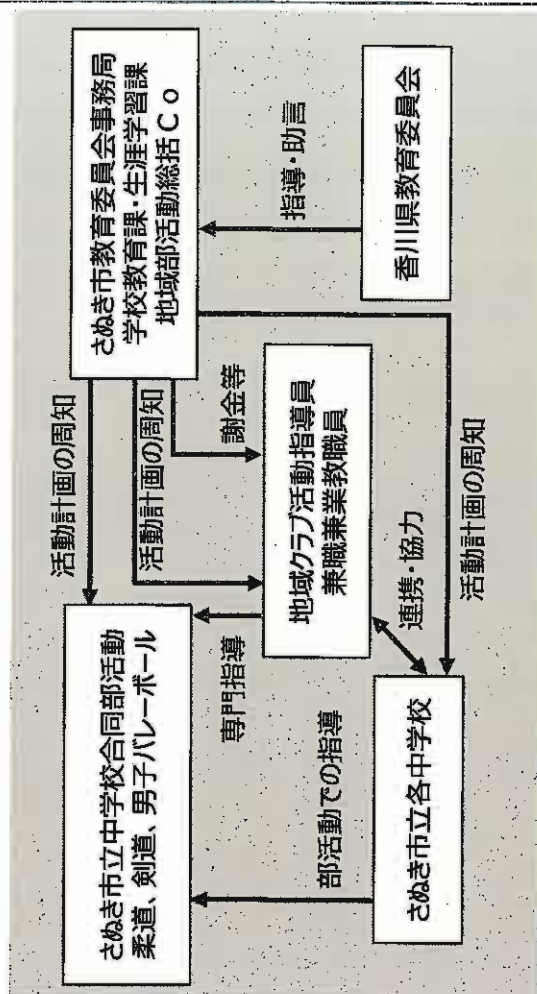
○運営団体（運営スタッフ）が2名だったこともあり、柔道・剣道を同じ会場で行った。1階で柔道、2階で剣道ができる会場を選定した。

○バレーボールでは、地域にVリーグで監督経験のある方、選手だった方がいたので、指導者をお願いした。また、教員の兼職兼業も活用した。

○部活動地域移行推進協議会を立ち上げ、メンバーに受け皿の中心となる可能性のある団体の会長やPTAの代表を選出した。

○部活動が成り立たなくなる種目で実証事業を実施したところ、生徒たちには好評であった。

國型體制



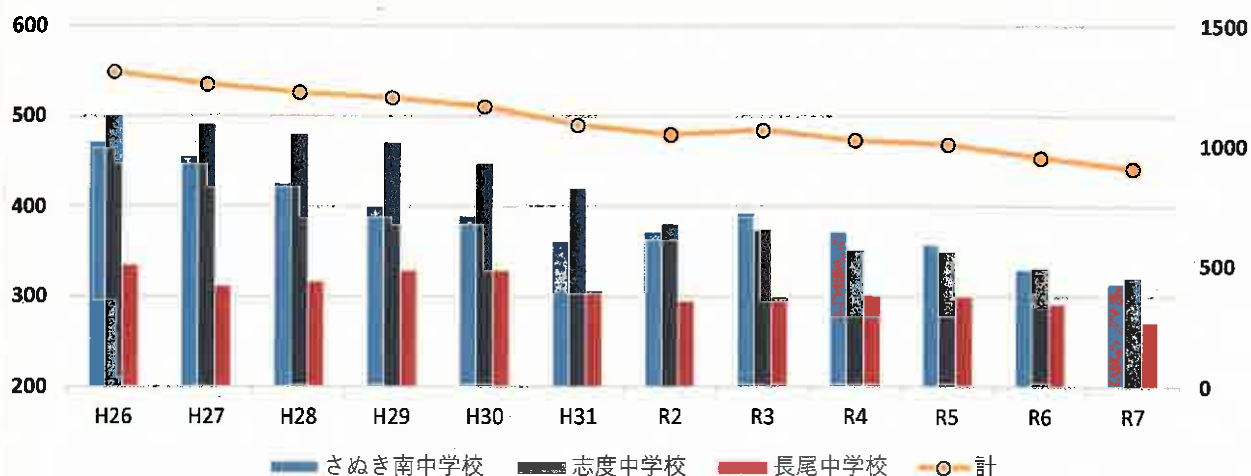
生徒数の推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
さぬき南中学校	471	456	426	400	389	361	372	394	371	358	330	314
志度中学校	501	491	480	471	447	420	381	374	351	349	332	320
長尾中学校	335	312	317	329	329	307	295	300	301	300	292	272
計	1307	1259	1223	1200	1165	1088	1048	1068	1023	1007	954	906

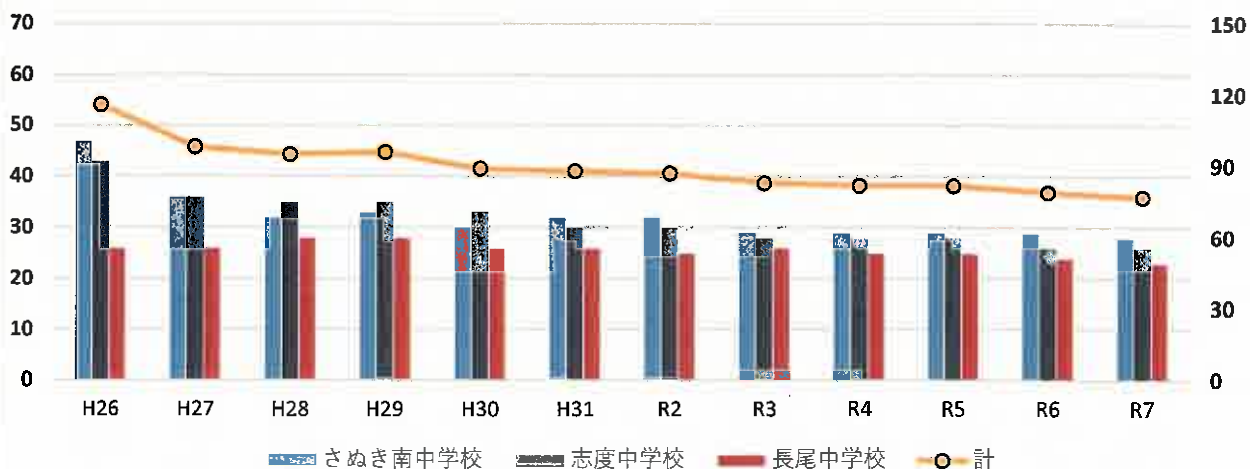
教員数の推移

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
さぬき南中学校	47	36	32	33	30	32	32	29	29	29	29	28
志度中学校	43	36	35	35	33	30	30	28	28	28	26	26
長尾中学校	26	26	28	28	26	26	25	26	25	25	24	23
計	116	98	95	96	89	88	87	83	82	82	79	77

生徒数の推移



教員数の推移



令和7年度さぬき市内中学校運動部活動設置状況

部活動名		さぬき南中学校	志度中学校	長尾中学校
バスケットボール	男	○	○	○
	女	○	○	○
サッカー	男女	○	○	○
軟式野球	男女	○	○	○
バレーボール	男	○		
	女	○	○	○
ソフトテニス	男	○	○	○
	女	○	○	○
卓球	男	○	○	○
	女	○	○	○
ソフトボール	女	○		
柔道	男	○	○	○
	女	○	○	○
剣道	男	○	○	○
	女	○	○	○
陸上	男女	○	○	○
水泳	男女		○	
テニス	男女			○

令和7年度さぬき市内中学校文化部活動設置状況

部活動名		さぬき南中学校	志度中学校	長尾中学校
吹奏楽	男女	○	○	○
美術	男女	○	○	○
パソコン	男女	○	○	

令和7年度 さぬき市立中学校部活動の入部状況 (R7.5.19)

番号	部活動名	性別	さぬき南中学校部員数				志度中学校部員数				長尾中学校部員数				合計			
			1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
1	陸上競技	男	0	1	0	1				0				0	0	1	0	1
2		女	0	1	1	2				0				0	0	1	1	2
3	体操競技	男				0				0				0	0	0	0	0
4		女				0				0				0	0	0	0	0
5	新体操競技	男				0				0				0	0	0	0	0
6		女				0				0				0	0	0	0	0
7	ハンドボール競技	男				0				0				0	0	0	0	0
8		女				0				0				0	0	0	0	0
9	バレーボール競技	男	3	6	4	13				0				0	3	6	4	13
10		女	4	2	9	15	2	0	12	14	7	2	7	16	13	4	28	45
11	バスケットボール競技	男	2	9	4	15	3	5	12	20	4	8	8	20	9	22	24	55
12		女	2	9	3	14	8	5	9	22	3	2	6	11	13	16	18	47
13	サッカー競技	男	1	8	7	16	9	3	6	18	2	5	10	17	12	16	23	51
14		女	0	0	0	0				0				0	0	0	0	0
15	ソフトテニス競技	男	10	8	5	23	2	17	1	20	7	8	4	19	19	33	10	62
16		女	3	1	12	16	4	3	0	7	4	12	6	22	11	16	18	45
17	テニス競技	男				0				0				0	0	0	0	0
18		女				0	3	10	4	17				0	3	10	4	17
19	バドミントン競技	男				0				0				0	0	0	0	0
20		女				0				0				0	0	0	0	0
21	卓球競技	男	6	3	6	15	8	4	3	15	3	7	6	16	17	14	15	46
22		女	4	10	8	22	8	9	7	24	4	0	9	13	16	19	24	59
23	ソフトボール競技	男				0				0				0	0	0	0	0
24		女	0	1	2	3				0				0	0	1	2	3
25	相撲競技	男				0				0				0	0	0	0	0
26	柔道競技	男	1	4	0	5	3	0	2	5	0	0	2	2	4	4	4	12
27		女	0	0	2	2	2	1	1	4	0	1	2	3	2	2	5	9
28	剣道競技	男	2	5	4	11	0	1	2	3	1	5	1	7	3	11	7	21
29		女	2	2	0	4	2	1	0	3	0	2	0	2	4	5	0	9
30	水泳競技	男				0				0			1	1	0	0	1	1
31		女				0				0		1		1	0	1	0	1
32	軟式野球競技	男	10	8	14	32	5	9	6	20	5	4	8	17	20	21	28	69
33		女	0	0	0	0				0				0	0	0	0	0
34	吹奏楽	男女	12	11	9	32	8	5	8	21	3	17	3	23	23	33	20	76
35	美術	男女	8	4	9	21	12	9	7	28	18	12	6	36	38	25	22	85
36	コンピュータ	男女	3	8	16	27	13	11	18	42	0	0	0	0	16	19	34	69

289

283

226

798

令和7年度 地域スポーツクラブ活動体制整備事業実施要領（案）

【目 的】	少子化が進展している中、中学校における部活動は、従前と同様の体制で運営していくことが大変難しくなっている。これからも、中学生がスポーツ芸術活動に継続して親しむことができるように、望ましいスポーツ・文化芸術環境を整備する必要がある。	
【対象種目】	男子バレーボール	
【対 象 者】	◦さぬき南中学校男子バレーボール部で希望する生徒 ◦志度中学校・長尾中学校で希望する生徒	
【活動場所】	さぬき南中学校体育館	
【実施形態】	拠点校方式	
【活動日時】	8月から令和8年2月中旬までの期間で15日程度	
		8:30～11:30 13:00～16:00
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	
	2月	
【指導者等】	〈教職員の兼職兼業〉 （教員） （教員） 〈地域の指導者〉 （公務員） （公務員） * 兼職兼業の届け出が必要	
【交通手段】	◦さぬき南中の生徒は、部活動での通学方法と同様 ◦志度中学校・長尾中学校の生徒は、保護者の送迎又は自転車	
【そ の 他】	◦学校管理外の活動となるため、スポーツ振興センターの対象とはならないので、スポーツ安全保険に加入。保険料の個人負担はありません。 ◦けが等の緊急連絡のため、申込み用紙には緊急連絡先の記入をお願いします。	

(案)

7 さ 教 学 第 号
令和 7 年 月 日

さぬき市内の中学生のみなさん

さぬき市教育委員会
教育長 和田 浩二

さぬき市中学校部活動地域移行に係るアンケートの実施について（お願い）

さて、学校部活動は、生徒のみなさんが自主的・自発的に参加し、部活動顧問の指導の下、学校教育の一環として行われてきました。しかし、少子化が進む中、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなっており、学校や地域によっては存続が厳しい状況にあります。

さぬき市では、令和 6 年 6 月末に「さぬき市学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を作り、中学校の部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方や新たな地域クラブ活動を整備するための必要な対応等を考えました。さらに、さぬき市部活動地域移行推進協議会を立ち上げ、年 3 回の推進会議を開催し、さぬき市の部活動の地域移行の方向性を検討するとともに、県（スポーツ庁）から「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」の委託を受け、合同部活動方式や拠点校方式による部活動を実験的に実施しました。今後もさぬき市内の中学生がよりスポーツ・文化芸術に親しんでいけるための環境を整備していきたいと考えております。

つきましては、中学生のみなさんの考えを聞かせいただき、さぬき市の部活動地域移行の方向性を決定してまいりたいと思いますので、ご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

さぬき市教育委員会事務局

学校教育課 担当 川口・山下

電 話：0 8 7 9－2 6－9 9 7 2

F A X：0 8 7 9－2 6－9 9 7 3

1 基本情報について

学校名：さぬき市立 ☐ さぬき南中学校 ☐ 志度中学校 ☐ 長尾中学校

学 年： ☐ 1年生 ☐ 2年生 ☐ 3年生

性 別： ☐男性 ☐女性 ☐回答しない

スポーツ・文化活動の取組み状況：

- ☐ 中学校の部活動のみに所属している（2に進む）
☐ クラブチーム・スクール・習い事のみに所属している（14に進む）
☐ 学校部活動とクラブチーム・スクール・習い事の両方に所属している（27に進む）
☐ 何もしていない・何にも所属していない（45に進む）

【1で、学校部活動のみに所属していると回答した生徒さんが答えてください。】

2 所属している学校部活動を教えてください

- ☐バスケットボール ☐軟式野球 ☐サッカー ☐バレーボール
☐テニス ☐ソフトテニス ☐卓球 ☐陸上 ☐ソフトボール
☐水泳 ☐柔道 ☐剣道 ☐美術 ☐吹奏楽 ☐パソコン
☐その他（ ）

3 学校部活動に入部して良かったと感じることはどのようなことですか（複数選択可）

- ☐好きな（興味のある）活動ができている
- ☐交友関係が広がるっている（同級生の友達、先輩、後輩との交流）
- ☐専門的な指導が受けられている
- ☐技術が上達している（上手になっている）
- ☐体力がついてきている
- ☐大会等でよい成績を得られている（試合に勝った・賞をとった）
- ☐活動に関する知識や経験が身についている
- ☐チームワークや協調性が身についている
- ☐リーダーシップが身についている
- ☐挨拶などの礼儀作法が身についている
- ☐規則正しい生活習慣が身についている
- ☐精神面が成長している（忍耐力が身についているなど）
- ☐高校の進路選択につながりそうである
- ☐学校生活の充実につながっている

- ☐学校の先生との交流ができている
☐授業や勉強へのやる気につながっている
☐特にない
☐その他（

4 所属する学校部活動の「平日」の活動について日数や時間をどう思っていますか

- ☐多い ☐少ない ☐ちょうどいい ☐平日の活動はなくてもよい

5 所属する学校部活動の「休日」の活動について日数や時間をどう思っていますか

- ☐
- 多い
- ☐
- 少ない
- ☐
- ちょうどいい
- ☐
- 休日の活動はなくてもよい

6 学校部活動で困っていることや悩んでいることについて当てはまるものを教えてください（複数選択可）

- ☐専門的な指導が十分受けられない
- ☐好きな（興味のある）活動ができる部活動がない
- ☐練習日数が多い、練習時間が長い
- ☐練習日数が少ない、練習時間が短い
- ☐顧問やコーチ、他の部員との人間関係
- ☐部員の数が少なくて十分な練習ができない
- ☐部員の数が多くて十分な練習ができない
- ☐練習がきつい、ハードである
- ☐顧問やコーチの指導が厳しい
- ☐勉強との両立が大変である
- ☐部活動以外でやりたいことをやる時間がない
- ☐特に困っていることや悩んでいることはない
- ☐その他（

7 休日の学校部活動が地域クラブに代わった場合、あなたの希望に近いものを選んでください

- ☐現在行っている学校部活動と同じ競技や活動をしたい
- ☐現在行っている学校部活動とは違う競技や活動をしたい
- ☐現在行っている学校部活動と同じ競技や活動だけでなく違う競技や活動もしたい
- ☐休日の活動は希望しない

8 今後、学校部活動以外の活動として参加してみたい競技・ジャンルを教えてください
(複数回答可)

- ☐ サッカー ☐ フットサル ☐ 野球 ☐ バスケットボール
☐ バレーボール ☐ テニス ☐ ソフトテニス ☐ 卓球 ☐ バドミントン
☐ 柔道 ☐ 剣道 ☐ 空手 ☐ ソフトボール ☐ ラグビー ☐ 水泳
☐ ダンス ☐ 陸上 ☐ ハンドボール ☐ 体操・新体操 ☐ スケートボード
☐ 美術 ☐ 合唱 ☐ ピアノ ☐ 軽音楽(ギター、ドラム等)
☐ 茶道・華道 ☐ 書道 ☐ 演劇 ☐ 英会話 ☐ パソコン
☐ アーバンスポーツ(スケートボード、BMX等) ☐ eスポーツ
☐ 年間で複数種目・活動を体験したい ☐ 特にない・参加したくない
☐ その他()

9 学校区を超えた地域クラブを実施する場合、あなたの考えに近いものを教えてください

- ☐ 参加したい ☐ どちらかといえば参加したい
☐ どちらかといえば参加したくない ☐ 参加したくない

10 あなたが地域クラブに期待することを教えてください(複数回答可)

- ☐ 希望する活動ができる
☐ 学校部活動にない活動ができる
☐ 専門的な指導が受けられるようになる
☐ 勝利や賞の獲得を目指す活動ができる
☐ 勝敗や入賞にこだわらない気軽に楽しめる活動ができる
☐ 一種目だけではなく、複数の活動ができる
☐ 友達と一緒に活動ができる
☐ 交友関係が広がる
☐ 体力が身につく
☐ 活動に関する知識や経験が身につく
☐ チームワークや協調性が身につく
☐ リーダーシップが身につく
☐ 挨拶などの礼儀作法が身につく
☐ 規則正しい生活習慣が身につく
☐ 精神面が成長する(忍耐力がつくなど)
☐ 高校などの進路選択につながる
☐ 授業や勉強へのやる気につながる
☐ 特にない
☐ その他()

11 「休日（土・日）」の理想的な練習日数(週当たり)を教えてください

- ☐土曜日か日曜日のどちらか1日
- ☐土曜日と日曜日の2日とも
- ☐休日は活動しない

12 現在行っている学校部活動は卒業後も続けたいと思いますか

- ☐続けたい
- ☐続けたくない
- ☐わからない

13 休日の学校部活動を段階的に地域クラブに移行することに対して、心配されることとして、あなたの考えに近いものを教えてください（複数回答可）

- ☐希望する活動ができるのか
- ☐十分な技術指導が受けられるのか
- ☐大会でよい成績、賞を獲得することができるのか
- ☐練習や指導についていけるのか
- ☐活動時間が長くなるのではない（平日夜間、土日祝日の練習）
- ☐活動時間が短くなるのではない
- ☐友達と一緒に活動できるのか
- ☐活動の参加費が高くなるのではない
- ☐指導者やコーチと良い関係がしてくれるのか
- ☐高校などの進路選択につなげることができるのか
- ☐勉強との両立が難しくなるのではない
- ☐学校や先生との関係性が薄れるのではない
- ☐特にない
- ☐その他（ ）

【1で、クラブチーム・スクール・習い事のみにも所属していると回答した生徒さんが答えてください。】

14 クラブチーム・スクール・習い事についてお聞きします

所属しているクラブチーム・スクール・習い事を教えてください

- ☐サッカー ☐フットサル ☐硬式野球 ☐軟式野球 ☐バスケットボール
- ☐バレーボール ☐硬式テニス ☐ソフトテニス ☐卓球 ☐バドミントン
- ☐柔道 ☐空手 ☐剣道 ☐ソフトボール ☐ラグビー ☐水泳
- ☐ダンス ☐陸上 ☐ハンドボール ☐体操・新体操 ☐スケートボード
- ☐美術 ☐合唱 ☐ピアノ等の楽器 ☐軽音楽（ギター、ドラム等）
- ☐茶道・華道 ☐書道 ☐演劇 ☐英会話 ☐パソコン
- ☐その他（ ）

15 参加しているクラブチーム・スクール・習い事の教室や団体等の名称を教えてください
例) ○○クラブ、××そろばん教室等

名称: _____

16 クラブチーム・スクール・習い事の活動状況について教えてください

① 平日の活動日数について

☐ 5日 ☐ 4日 ☐ 3日 ☐ 2日 ☐ 1日 ☐ 月に数回程度

② 土・日の活動について

☐ 毎週両方 ☐ 毎週どちらか1日 ☐ 月に2回程度

☐ 大会やコンクール以外はほとんどない ☐ なし

☐ その他 (_____)

17 クラブチーム・スクール・習い事の活動場所までの移動手段について教えてください

☐ 徒歩 ☐ 自転車 ☐ 公共交通機関 ☐ 保護者の送迎 (自動車)

☐ その他 (_____)

18 クラブチーム・スクール・習い事に所属して良かったと感じることはどのようなこと
ですか (複数選択可)

☐ 好きな (興味のある) 活動ができている

☐ 交友関係が広がる (同級生の友達、先輩、後輩との交流)

☐ 専門的な指導が受けられている

☐ 技術が上達している (上手になっている)

☐ 体力がついてきている

☐ 大会等でよい成績を得られている (試合に勝つ・賞をとる)

☐ 活動に関する知識や経験が身についている

☐ チームワークや協調性が身についている

☐ リーダーシップが身についている

☐ 挨拶などの礼儀作法が身についている

☐ 規則正しい生活習慣が身についている

☐ 精神面が成長している (忍耐力が身についているなど)

☐ 高校の進路選択につながりそうである

☐ 学校生活の充実につながっている

☐ 授業や勉強へのやる気につながっている

☐ 特になし

☐ その他 (_____)

19 クラブチーム・スクール・習い事で困っていることや悩んでいることについて当てはまるものを教えてください（複数選択可）

- ☐専門的な指導が十分受けられない
- ☐練習日数が多い、練習時間が長い
- ☐練習日数が少ない、練習時間が短い
- ☐各種スクール・習い事までの移動が大変であること
- ☐指導者やコーチ、他のメンバーとの人間関係
- ☐メンバーの数が少なくて十分な練習ができない
- ☐メンバーの数が多くて十分な練習ができない
- ☐練習がきつい、ハードである
- ☐指導者やコーチの指導が厳しい
- ☐勉強との両立が大変である
- ☐クラブチーム・スクール・習い事以外でやりたいことをやる時間がない
- ☐特に困っていることや悩んでいることはない
- ☐その他（

20 休日の学校部活動が地域クラブに代わった場合、あなたの希望に近いものを選んでください

- ☐現在行っているクラブチーム・スクール・習い事と同じ競技や活動をしたい
☐現在行っているクラブチーム・スクール・習い事とは違う競技や活動をしたい
☐現在行っているクラブチーム・スクール・習い事と同じ競技や活動だけでなく違う競技や活動もしたい
☐休日の活動は希望しない

21 今後、クラブチーム・スクール・習い事以外の活動として参加してみたい競技・ジャンルを教えてください（複数回答可）

- ☐サッカー ☐フットサル ☐野球 ☐バスケットボール
☐バレーボール ☐テニス ☐ソフトテニス ☐卓球 ☐バドミントン
☐柔道 ☐剣道 ☐空手 ☐ソフトボール ☐ラグビー ☐水泳
☐ダンス ☐陸上 ☐ハンドボール ☐体操・新体操 ☐スケートボード
☐美術 ☐合唱 ☐ピアノ ☐軽音楽（ギター、ドラム等）
☐茶道・華道 ☐書道 ☐演劇 ☐英会話 ☐パソコン
☐アーバンスポーツ（スケートボード、BMX等） ☐eスポーツ
☐年間で複数種目・活動を体験したい ☐特にない・参加したくない
☐その他（ ）

22 学校区を超えた地域クラブを実施する場合、あなたの考えに近いものを教えてください

- ☐参加したい ☐どちらかといえば参加したい
☐どちらかといえば参加したくない ☐参加したくない

23 あなたが地域クラブに期待することを教えてください（複数回答可）。

- ☐希望する活動ができる
- ☐学校部活動にない活動ができる
- ☐専門的な指導が受けられるようになる
- ☐勝利や賞の獲得を目指す活動ができる
- ☐勝敗や入賞にこだわらない気軽に楽しめる活動ができる
- ☐一種目だけではなく、複数の活動ができる
- ☐友達と一緒に活動ができる
- ☐交友関係が広がる
- ☐体力が身につく
- ☐活動に関する知識や経験が身につく
- ☐チームワークや協調性が身につく
- ☐リーダーシップが身につく
- ☐挨拶などの礼儀作法が身につく
- ☐規則正しい生活習慣が身につく
- ☐精神面が成長する（忍耐力がつくなど）
- ☐高校などの進路選択につながる
- ☐授業や勉強へのやる気につながる
- ☐特にない
- ☐その他（

24 「休日（土・日）」の理想的な練習日数(週当たり)を教えてください

- ☐土曜日か日曜日のどちらか1日
☐土曜日と日曜日の2日とも
☐休日は活動しない

25 休日の学校部活動を段階的に地域クラブに移行することに対して、心配されることとして、あなたの考えに近いものを教えてください（複数回答可）

- ☐希望する活動ができるのか
☐十分な技術指導が受けられるのか
☐大会でよい成績、賞を獲得することができるのか

- ☐練習や指導についていけるのか
- ☐活動時間が長くなるのではないかと(平日夜間、土日祝日の練習)
- ☐活動時間が短くなるのではないかと
- ☐友達と一緒に活動できるのか
- ☐活動の参加費が高くなるのではないかと
- ☐指導者やコーチと良い関係がつかれるのか
- ☐高校などの進路選択につなげることができるのか
- ☐勉強との両立が難しくなるのではないかと
- ☐学校や先生との関係性が薄れるのではないかと
- ☐特になし
- ☐その他 ()

26 現在行っているクラブチーム・スクール・習い事は、卒業後も続けたいと思いますか

- ☐続けたい ☐続けたくない ☐わからない

【1で、学校部活動とクラブチーム・スクール・習い事の両方に所属していると回答した生徒さんが答えてください。】

27 所属している学校部活動を教えてください

- ☐バスケットボール ☐軟式野球 ☐サッカー ☐バレーボール
☐テニス ☐ソフトテニス ☐卓球 ☐陸上 ☐ソフトボール
☐水泳 ☐柔道 ☐剣道 ☐美術 ☐パソコン ☐吹奏楽
☐その他 ()

28 学校部活動に入部して良かったと感じることはどのようなことですか(複数選択可)

- ☐好きな(興味のある)活動ができている
- ☐交友関係が広がる(同級生の友達、先輩、後輩との交流)
- ☐専門的な指導が受けられている
- ☐技術が上達している(上手になっている)
- ☐体力がついてきている
- ☐大会等でよい成績を得られている(試合に勝った・賞をとった)
- ☐活動に関する知識や経験が身についている
- ☐チームワークや協調性が身についている
- ☐リーダーシップが身についている
- ☐挨拶などの礼儀作法が身についている
- ☐規則正しい生活習慣が身についている
- ☐精神面が成長している(忍耐力が身についているなど)
- ☐高校の進路選択につながりそうである

- ☐ 学校生活の充実につながっている
- ☐ 学校の先生との交流ができている
- ☐ 授業や勉強へのやる気につながっている
- ☐ 特にない
- ☐ その他 ()

29 所属する学校部活動の「平日」の活動について日数や時間をどう思っていますか

- ☐ 多い ☐ 少ない ☐ ちょうどいい ☐ 平日の活動はなくてもよい

30 所属する学校部活動の「休日」の活動について日数や時間をどう思っていますか

- ☐ 多い ☐ 少ない ☐ ちょうどいい ☐ 休日の活動はなくてもよい

31 学校部活動で困っていることや悩んでいることについて当てはまるものを教えてください（複数選択可）

- ☐ 専門的な指導が十分受けられない
- ☐ 好きな（興味のある）活動ができる部活動がない
- ☐ 練習日数が多い、練習時間が長い
- ☐ 練習日数が少ない、練習時間が短い
- ☐ 顧問やコーチ、他部員との人間関係
- ☐ 部員の数が少なくて十分な練習ができない
- ☐ 部員の数が多くて十分な練習ができない
- ☐ 練習がきつい、ハードである
- ☐ 顧問やコーチの指導が厳しい
- ☐ 勉強との両立が大変である
- ☐ 部活動以外でやりたいことをやる時間がない
- ☐ 特に困っていることや悩んでいることはない
- ☐ その他 ()

32 参加しているクラブチーム・スクール・習い事を教えてください

***複数のクラブチーム・スクール・習い事に通っている場合は、最も長く通っているものなど、メインのものについてご回答ください**

- ☐ サッカー ☐ フットサル ☐ 硬式野球 ☐ 軟式野球 ☐ バスケットボール
- ☐ バレーボール ☐ 硬式テニス ☐ ソフトテニス ☐ 卓球 ☐ バドミントン
- ☐ 柔道 ☐ 空手 ☐ 剣道 ☐ ソフトボール ☐ ラグビー ☐ 水泳
- ☐ ダンス ☐ 陸上 ☐ ハンドボール ☐ 体操・新体操 ☐ スケートボード
- ☐ 美術 ☐ 合唱 ☐ ピアノ等の楽器 ☐ 茶道・華道 ☐ 書道 ☐ 演劇
- ☐ 英会話 ☐ パソコン ☐ その他 ()

33 参加しているクラブチーム・スクール・習い事の教室や団体等の名称を教えてください

例) ○○クラブ、××そろばん教室等

名称: _____

34 クラブチーム・スクール・習い事の活動状況について教えてください

① 平日の活動日数について

☐5日 ☐4日 ☐3日 ☐2日 ☐1日 ☐月に2回程度

② 土・日の活動について

☐毎週両方 ☐毎週どちらか1日 ☐月に2回程度

☐大会やコンクール以外はほとんどない ☐なし

35 クラブチーム・スクール・習い事の活動場所までの移動手段について教えてください

☐徒歩 ☐自転車 ☐公共交通機関 ☐保護者の送迎（自動車）

☐その他（ _____ ）

36 クラブチーム・スクール・習い事に所属して良かったと感じることはどのようなことですか（複数選択可）

☐好きな（興味のある）活動ができている

☐交友関係が広がる（同級生の友達、先輩、後輩との交流）

☐専門的な指導が受けられている

☐技術が上達している（上手になっている）

☐体力がついてきている

☐大会等でよい成績を得られている（試合に勝つ・賞をとる）

☐活動に関する知識や経験が身についている

☐チームワークや協調性が身についている

☐リーダーシップが身についている

☐挨拶などの礼儀作法が身についている

☐規則正しい生活習慣が身についている

☐精神面が成長している（忍耐力が身についているなど）

☐高校の進路選択につながりそうである

☐学校生活の充実につながっている

☐授業や勉強へのやる気につながっている

☐特にない

☐その他（ _____ ）

37 クラブチーム・スクール・習い事で困っていることや悩んでいることについて当てはまるものを教えてください（複数選択可）

- ☐専門的な指導が十分受けられない
- ☐練習日数が多い、練習時間が長い
- ☐練習日数が少ない、練習時間が短い
- ☐クラブチーム・スクール・習い事までの移動が大変であること
- ☐指導者やコーチ、他のメンバーとの人間関係
- ☐メンバーの数が少なくて十分な練習ができない
- ☐メンバーの数が多くて十分な練習ができない
- ☐練習がきつい、ハードである
- ☐指導者やコーチの指導が厳しい
- ☐勉強との両立が大変である
- ☐クラブチーム・スクール・習い事以外でやりたいことをやる時間がない
- ☐特に困っていることや悩んでいることはない
- ☐その他（ ）

38 休日の学校部活動が地域クラブに代わった場合、あなたの希望に近いものを選んでください

- ☐現在行っているクラブチーム・スクール・習い事及び現在行っている学校部活動と同じ競技や活動をしたい
- ☐現在行っているクラブチーム・スクール・習い事と同じ競技や活動をしたい
- ☐現在行っているクラブチーム・スクール・習い事とは違う競技や活動をしたい
- ☐現在行っているクラブチーム・スクール・習い事と同じ競技や活動だけでなく違う競技や活動もしたい
- ☐現在行っている学校部活動と同じ競技や活動をしたい
- ☐現在行っている学校部活動とは違う競技や活動をしたい
- ☐現在行っている学校部活動と同じ競技や活動だけでなく違う競技や活動もしたい
- ☐休日の活動は希望しない

39 今後、学校部活動・クラブチーム・スクール・習い事以外の活動として参加してみたい競技・ジャンルを教えてください（複数回答可）

- ☐サッカー ☐フットサル ☐野球 ☐バスケットボール
☐バレーボール ☐テニス ☐ソフトテニス ☐卓球 ☐バドミントン
☐柔道 ☐剣道 ☐空手 ☐ソフトボール ☐ラグビー ☐水泳
☐ダンス ☐陸上 ☐ハンドボール ☐体操・新体操 ☐スケートボード
☐美術 ☐合唱 ☐ピアノ ☐軽音楽（ギター、ドラム等）
☐茶道・華道 ☐書道 ☐演劇 ☐英会話 ☐パソコン
☐アーバンスポーツ（スケートボード、BMX等） ☐eスポーツ
☐年間で複数種目・活動を体験したい ☐特にない・参加したくない
☐その他（

40 学校区を超えた地域クラブを実施する場合、あなたの考えに近いものを教えてください

- ☐参加したい ☐どちらかといえば参加したい
☐どちらかといえば参加したくない ☐参加したくない

41 あなたが地域クラブに期待することを教えてください（複数回答可）

- ☐希望する活動ができる
- ☐学校部活動にない活動ができる
- ☐専門的な指導が受けられるようになる
- ☐勝利や賞の獲得を目指す活動ができる
- ☐勝敗や入賞にこだわらない気軽に楽しめる活動ができる
- ☐一種目だけではなく、複数の活動ができる
- ☐友達と一緒に活動ができる
- ☐交友関係が広がる
- ☐体力が身につく
- ☐活動に関する知識や経験が身につく
- ☐チームワークや協調性が身につく
- ☐リーダーシップが身につく
- ☐挨拶などの礼儀作法が身につく
- ☐規則正しい生活習慣が身につく
- ☐精神面が成長する（忍耐力がつくなど）
- ☐高校などの進路選択につながる
- ☐授業や勉強へのやる気につながる
- ☐特にない
- ☐その他（

42 「休日（土・日）」の理想的な練習日数(週あたり)を教えてください

- ☐土曜日か日曜日のどちらか1日
☐土曜日と日曜日の2日とも
☐休日は活動しない

43 休日の学校部活動を段階的に地域クラブに移行することに対して、心配されることとして、あなたの考えに近いものを教えてください（複数回答可）

- ☐希望する活動ができるのか
☐十分な技術指導が受けられるのか
☐大会でよい成績、賞を獲得することができるのか

- ☐練習や指導についていけるのか
- ☐活動時間が長くなるのではないかと(平日夜間、土日祝日の練習)
- ☐活動時間が短くなるのではないかと
- ☐友達と一緒に活動できるのか
- ☐活動の参加費が高くなるのではないかと
- ☐指導者やコーチと良い関係がつかれるのか
- ☐高校などの進路選択につなげることができるのか
- ☐勉強との両立が難しくなるのではないかと
- ☐学校や先生との関係性が薄れるのではないかと
- ☐特になし
- ☐その他 ()

44 現在行っている学校部活動・クラブチーム・スクール・習い事を続けたいと思いますか

- ☐続けたい ☐続けたくない
- ☐学校部活動は続けたいがクラブチーム・スクール・習い事は続けたくない
- ☐クラブチーム・スクール・習い事は続けたいが学校部活動は続けたくない
- ☐わからない

【1で、何もしていない・何にも所属していないと回答した生徒さんが答えてください。】

45 学校部活動やクラブチーム・スクール・習い事に所属していない理由を教えてください(複数選択可)

- ☐自主的・個人的に活動を行なっている
- ☐勉強に集中するため
- ☐活動時間が長すぎる。また活動日数が多すぎる
- ☐希望する部活動・クラブチーム・スクール・習い事がない
- ☐希望する部活動・クラブチーム・スクール・習い事に友人がいない
- ☐運動・文化活動は苦手で、やりたくない
- ☐けが等をしたくない
- ☐家庭の事情により所属していない
- ☐対人関係が苦手である
- ☐特に理由はない
- ☐やりたいことがない
- ☐その他 ()

46 休日の学校部活動が地域クラブに移行された場合、あなたの希望に近いものを選んでください

- ☐希望する活動があれば地域クラブに参加してみたい
☐条件が合えば地域クラブに参加してみたい
☐休日の活動は希望しない

47 今後、参加してみたい競技・ジャンルを教えてください（複数回答可）

- ☐サッカー ☐フットサル ☐野球 ☐バスケットボール
☐バレーボール ☐テニス ☐ソフトテニス ☐卓球 ☐バドミントン
☐柔道 ☐剣道 ☐空手 ☐ソフトボール ☐ラグビー ☐水泳
☐ダンス ☐陸上 ☐ハンドボール ☐体操・新体操 ☐スケートボード
☐美術 ☐合唱 ☐ピアノ ☐軽音楽（ギター、ドラム等）
☐茶道・華道 ☐書道 ☐演劇 ☐英会話 ☐パソコン
☐アーバンスポーツ（スケートボード、BMX等） ☐e スポーツ
☐年間で複数種目・活動を体験したい ☐特にない・参加したくない
☐その他（ ）

48 学校区を超えた地域クラブの実施する場合、あなたの考えに近いものを教えてください

- ☐参加したい ☐どちらかといえば参加したい
☐どちらかといえば参加したくない ☐参加したくない

49 あなたが地域クラブに期待することを教えてください（複数回答可）

- ☐希望する活動ができる
- ☐学校部活動にない活動ができる
- ☐専門的な指導が受けられるようになる
- ☐勝利や賞の獲得を目指す活動ができる
- ☐勝敗や入賞にこだわらない気軽に楽しめる活動ができる
- ☐一種目だけではなく、複数の活動ができる
- ☐友達と一緒に活動ができる
- ☐交友関係が広がる
- ☐体力が身につく
- ☐活動に関する知識や経験が身につく
- ☐チームワークや協調性が身につく
- ☐リーダーシップが身につく
- ☐挨拶などの礼儀作法が身につく

- ☐規則正しい生活習慣が身につく
- ☐精神面が成長する（忍耐力がつくなど）
- ☐高校などの進路選択につながる
- ☐授業や勉強へのやる気につながる
- ☐特にない
- ☐その他（

）

50 「休日（土・日）」の理想的な練習日数(週あたり)を教えてください

- ☐土曜日か日曜日のどちらか1日
- ☐土曜日と日曜日の2日とも
- ☐休日は活動しない

51 休日の学校部活動を段階的に地域クラブに移行することに対して、心配されることとして、あなたの考えに近いものを教えてください（複数回答可）

- ☐希望する活動ができるのか
- ☐十分な技術指導が受けられるのか
- ☐大会でよい成績、賞を獲得することができるのか
- ☐練習や指導についていけるのか
- ☐活動時間が長くなるのではない（平日夜間、土日祝日の練習）
- ☐活動時間が短くなるのではない
- ☐友達と一緒に活動できるのか
- ☐活動の参加費が高くなるのではない
- ☐指導者やコーチと良い関係がつけられるのか
- ☐高校などの進路選択につなげることができるのか
- ☐勉強との両立が難しくなるのではない
- ☐学校や先生との関係性が薄れるのではない
- ☐特にない
- ☐その他（

）

(案)

7 号
さぬき市教育委員会
令和 7 年 月 日
教育長 和田 浩二

地域スポーツ・文化協会加盟団体会長 様

さぬき市教育委員会
教育長 和田 浩二

さぬき市中学校部活動地域移行に係る
地域スポーツ・文化団体の活動状況及び意向調査について（依頼）

平素は、本市スポーツ・文化行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、学校部活動は、スポーツ・文化芸術に興味・関心のある同好の生徒が自主的・自発的に参加し、部活動顧問の指導の下、学校教育の一環として行われ、教員の献身的な支えにより、我が国のスポーツ・文化芸術振興を担ってきました。しかし、少子化が進展する中、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなっており、学校や地域によっては存続が厳しい状況にあります。また、専門性や意思に関わらず教員が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校における働き方改革が進む中、より一層厳しくなっています。

さぬき市では、令和 6 年 6 月末に「さぬき市学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定し、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方や新たな地域クラブ活動を整備するための必要な対応等を示しました。さらに、さぬき市部活動地域移行推進協議会を立ち上げ、年 3 回の推進会議を開催し、さぬき市の部活動の地域移行の方向性を検討するとともに、国及び県から「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」の委託を受け、合同部活動方式や拠点校方式による実証事業を行いました。今後におきましては、地域スポーツ・文化協会加盟団体様のご協力をいただきながら、中学生の豊かなスポーツ・文化芸術環境を整備していきたいと考えております。

つきましては、各団体様のご意向やご意見をお聞かせいただき、さぬき市の部活動地域移行の方向性を決定してまいりたいと思いますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、ご回答につきましては、7 月末までに同封の封筒で返信いただければと思います。

【問い合わせ先】

さぬき市教育委員会事務局
学校教育課 担当 川口・山下
電 話：0879-26-9972
FAX：0879-26-9973

記入年月日：令和7年 月 日

1 貴団体について

貴団体名： _____

代表者名： _____

記入者名： _____

電話番号： _____

メールアドレス： _____

2 貴団体の現在の活動状況について

(1) 対象競技種目（複数の場合は、すべてチェックしてください）

*男子のみ対象（☒男）、女子のみ対象（☒女）、男女ともに対象（☒男・☒女）

☐バスケットボール（男・女） ☐サッカー（男・女） ☐野球（男・女）

☐ラグビー（男・女） ☐テニス（男・女） ☐軟式テニス（男・女）

☐陸上競技（男・女） ☐卓球（男・女） ☐バレーボール（男・女）

☐バドミントン（男・女） ☐柔道（男・女） ☐剣道（男・女）

☐弓道（男・女） ☐水泳（男・女） ☐ソフトボール（男・女）

☐ゴルフ（男・女） ☐グランドゴルフ（男・女） ☐ゲートボール（男・女）

☐上記以外（ _____ ）

(2) 所属人数（令和7年度4月現在）

☐0～9人 ☐10～19人 ☐20～29人 ☐30～39人 ☐40人以上

(3) 指導者の人数（指導が可能な方）

☐1人 ☐2人 ☐3人 ☐4～9人 ☐10人以上

* 中学生にチェックされた場合は、(10)～(12)は要回答

* 中学生にチェックされなかった場合は、(10)～(12)は回答不要

(10) 中学生の所属人数（令和7年度4月現在）

☐ 0～9人 ☐ 10～19人 ☐ 20～29人 ☐ 30～39人 ☐ 40人以上

(11) 所属中学生の主な居住地（複数回答可）

* わかっている範囲で構いません。調査や聴き取りは必要ありません。

☐ 市内全域

☐ 津田地区 ☐ 大川地区 ☐ 寒川地区 ☐ 長尾地区 ☐ 志度地区

☐ さぬき市以外

(12) 所属中学生からの会費（月謝）の徴収状況

☐ 徴収している

☐ ～1,000 円 ☐ 1,001～2,000 円 ☐ 2,001～3,000 円 ☐ 3,001～4,000 円

☐ 4,001～5,000 円 ☐ 5,001 円～

* 会費の徴収が月単位でない場合は、月額に換算してお答えください。

* 入会費や諸経費は含みません。

☐ 徴収していない

3 貴団体への中学生の受入れに対する意向について

(1) 2－(9)で「中学生を対象に含む」と回答された団体にお伺いします。

① 中学生の受入れ人数の増減について今後の意向をお答えください。

☐ ア 現状の人数を維持したい

☐ イ 追加加入が可能であり、受入れ人数を拡大したい

☐ ウ 課題が解決できれば、受入れ人数を拡大したい

☐ エ 受入れ人数を縮小したい

☐ オ 受入れを休廃止したい

☐ カ 現段階では分からない

☐ キ その他（

）

- ② ①においてウと回答された団体にお伺いします。受入れ拡大に向けてどのような点が課題と思われますか。(複数回答可)

☐指導者の量の確保 ☐指導者の質の向上 ☐活動場所の確保

☐中学校部活動からの円滑な移行

☐その他()

- ③ ①においてエまたはオと回答された団体にお伺いします。よろしければ理由をお答えください。

【理由】

--

- (2) 2 - (9) で「中学生を対象に含まない」と回答された団体にお伺いします。

- ① 中学生の新規受入れについて今後の意向をお答えください。

☐ ア 新規受入れが可能な状況にあり、前向きに検討している。

☐ イ 課題が解決できるようであれば、前向きに検討したい。

☐ ウ 新規受入れをするつもりはない。新規受入れは困難である。

☐ オ その他()

- ② ①においてイと回答された団体にお伺いします。新規受入れに向けてどのような点が課題と思われますか。(複数回答可)

☐指導者の量の確保 ☐指導者の質の向上 ☐活動場所の確保

☐中学校部活動からの円滑な移行 ☐中学生規格の設備の導入

☐その他()

- ③ ①においてウと回答された団体にお伺いします。よろしければ理由をお答えください。

【理由】

--

今後のスケジュールについて

【令和7年度】

4月	○ 実証事業関係団体・指導者への説明及び依頼 ○ 第1回さぬき市部活動地域移行推進協議会開催に向けて準備
5月	○ 第1回さぬき市部活動地域移行推進協議会の資料作成 ○ 第1回さぬき市部活動地域移行推進協議会の開催
6月	○ 地域スポーツ団体・文化団体に意向調査開始 ○ 児童・生徒・保護者へのアンケート実施
7月	○ 後期開催の実証事業関係団体・指導者への説明及び依頼 ○ アンケート集計
8月	○ 実証事業（男子バレーボール）開始（～2月上旬） ○ アンケート分析 ○ さぬき市部活動地域展開推進計画1次案作成開始 ○ 後期開催の実証事業の詳細決定及び学校への説明 ○ 後期開催の実証事業についての保護者説明会の案内及び開催
9月	○ 後期開催の実証事業開始（～2月上旬） ○ 第2回さぬき市部活動地域移行推進協議会の資料作成
10月	○ 第2回さぬき市部活動地域移行推進協議会の開催 … 27日（月） ○ さぬき市部活動地域展開推進計画1次案検討
11月	○ さぬき市部活動地域展開推進計画2次案作成開始
12月	○ 第3回さぬき市部活動地域移行推進協議会の資料の作成
1月	○ 第3回さぬき市部活動地域移行推進協議会の開催 … 26日（月） ○ さぬき市部活動地域展開推進計画2次案検討 ○ 実証事業の報告書及び精算関係まとめ
2月	○ 実証事業終了、実証事業の県への報告完了 ○ さぬき市部活動地域展開推進計画策定 ○ 次年度の休日の部活動地域展開について検討
3月	○ 次年度の休日の部活動地域展開について関係団体と打ち合わせ ○ 次年度の休日の部活動地域展開について学校への説明

*プロジェクトチームを結成し、ワーキンググループを数回開催予定。

さぬき市部活動地域移行推進協議会委員

番号	分類	氏名	役職等
1	さぬき市立学校の校長の代表	亀井 健男	津田小学校長
2	さぬき市立学校の校長の代表	村上 誠一	さぬき南中学校長
3	さぬき市立学校の校長の代表	横尾 昌彦	志度中学校長
4	さぬき市立学校の校長の代表	有友 誠	長尾中学校長
⑤	スポーツ関係団体の代表	犬伏 徳市	さぬき市スポーツ少年団副本部長
⑥	スポーツ関係団体の代表	千田 良信	さぬき市スポーツ協会会長
⑦	スポーツ関係団体の代表	射場 利春	さぬき市スポーツ推進委員会会長
⑧	文化芸術関係団体の代表	玉木 一浩	文化協会会長
⑨	さぬき市PTA連絡協議会の代表	井川 雄喜	さぬき市PTA連絡協議会会長
⑩	さぬき市PTA連絡協議会の代表	瀬尾 真也	さぬき市PTA連絡協議会副会長
⑪	さぬき市PTA連絡協議会の代表	吉田 和恵	さぬき市PTA連絡協議会母親代表副会長
⑫	学識経験者	山神 眞一	放送大学香川学習センター所長
13	学識経験者	夏田 安晴	元中学校長
14	学識経験者	土居 真也	香川県立津田高等学校長
15	その他教育委員会が必要と認める者	増田 一仁	香教委事務局保健体育課 指導主事

事務局 和田教育長 佐藤教育部長

樫村（学校教育課長） 大生（生涯学習課長）

山下・川口（学校教育課） 馬場・松下（生涯学習課）

* 旅費（さぬき市の規定による）が委員の方全員にでます。

* 数字を○囲みしている方は、謝金(4,000 円)がでます。

さぬき市部活動地域移行推進協議会設置要綱

(設置)

第1条 さぬき市立中学校（以下「中学校」という。）の生徒にとって望ましいスポーツ・文化芸術環境の構築と中学校の教員の働き方改革の実現に向け、中学校における部活動の地域移行を段階的に推進するための方針を協議するため、さぬき市部活動地域移行推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について協議を行うものとする。

- (1) 部活動の段階的な地域移行に必要な調査研究に関すること。
- (2) 地域クラブ活動の運営の在り方等に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、部活動の地域移行に関し必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 協議会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、さぬき市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱し、又は任命する。

- (1) さぬき市立学校の校長の代表
- (2) スポーツ関係団体の代表
- (3) 文化芸術関係団体の代表
- (4) さぬき市PTA連絡協議会の代表
- (5) 学識経験者
- (6) その他教育委員会が必要と認める者

(任期等)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から当該委嘱の日の属する年度の末日までとする。

ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選により定め、副会長は、会長が委員のうちから指名する。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、議長となる。

ただし、委員の委嘱又は任命後最初に開かれる会議は、教育長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 協議会は、必要に応じて会議に関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、教育委員会事務局学校教育課及び生涯学習課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。